

ODA

ピアネット・イルカ

つうかん
ODA通巻 : 1342



発行 社会福祉法人
沖縄県身体障害者福祉協会
編集人 NPO 法人沖縄県自立生活センター・イルカ
住所 〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-4-1(1F)
単価 100円(会費に含)
TEL 098-890-4890
FAX 098-897-1877

もくじ 目次

- 2ページ～4ページ.....バリアフリーチェック
- 5ページ～6ページ.....生活介護の映画上映
せいにかつかいご えいがじょうえい
- 7ページ～8ページ.....うらちゃんmini
ミニ



ねん おもしろ げんこう
2021年もピアネットを、面白い原稿に
したいので読んで下さい
よ くだ
ピアネット一同
いちどう



令和2年10月23日(金)

最近、職場の近くにお寿司屋さんがオープンしました。

最初に思った事は、入口が狭いため出入りが難しく、車椅子やベビーカーでは店内に入るのが困難と感じました。

もし緊急事態になった場合、スムーズに避難することが出来ず、他のお客さんにも迷惑をかけると思いました。なので、自動ドアや広い入口があったほうが良いと思いました。

入店して店長さんとお話をしたかったのですが、店長さんが不在だった為、スタッフの方に店の入口を広くしてほしいと僕らの気持ちを伝えました。

今後も、食べに行ったときは店長さんたちに自分たちの気持ちを伝えていきたいと思います。



雨の中みんなで行ったら入り口が狭く出入りするのに時間かかりました。店員にも手伝ってもらうことができたのでそこは良かったです。



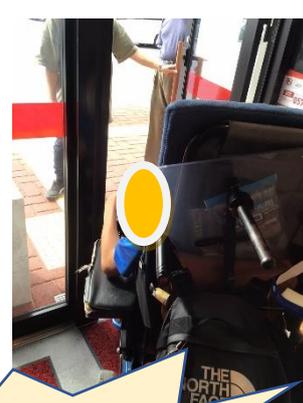
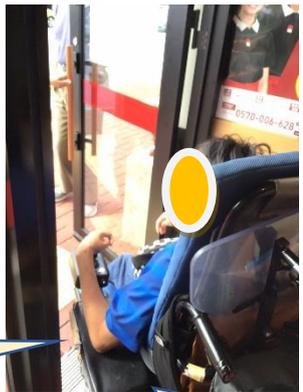
仲間たちと副店長に一人一人の思いを伝えました。

令和2年10月30日(金)

2回目のバリアフリーチェックは、主任に会うことができ、先週と同じように出入口を広くしてお客様がストレスなく行き来できるように工夫してほしい思いを伝えました。

今回は入店の際、「店員をお願いをしてドアを開けてもらう」予定だったが、職場の仲間が先にドアを開けてしまった為、予定していた事が出来ませんでした。その後、店内で今回の予定をメンバーに説明し、店内から出る際は、他のお客様に手伝ってもらいながらお店をでることができました。

メンバーと事前に今日のやることを確認して、来店した方が良かったと思います。



車イスで通るのがとても難しい

時間かかって他の人通れない



今回は副店長に話をしました。お寿司屋さんができる前のお店は自動ドアで出入り口はとても大きかった。せめて二人くらい通れる広さがあったらお客様に親切と思う。

令和2年11月6日(金) 第三回バリアフリーチェック

・店内入り口の改善方法はいつ頃になるかと店員さんに聞いた際に

早くて半年とお店側からの回答がもらえる。現在本部と確認中

・入り口が改善されるまでは、外にあるインターホンで(スシロー)の店員が対応するとのこと

・お店に行くことによって店員さんからのサポートや理解をしてもらえる

・店内の雰囲気はいいが商品を頼むリモコンなども高い位置にあり車椅子利用者や子供にとって

視線が高すぎて自由に商品が選べないことや食べたい商品がレーンから取れないことがある。

・入口の扉を抑える為に分厚いマットで抑えてくれているがタイヤが空回りしてしまい車椅子

が曲がりにくいことがある。

・来年5月ぐらいにお店が改善されているか聞いてみる。

・お店に何回も行くことによって店員さんに覚えてもらい店内の改善もできたらうれしい。

シーサーを動かすことができない(コンクリート)の為

電動車いすのリモコンの位置によってインターホンを押すが難しいインターホンの位置をずら

してもらえるか確認を行う。

お店側が改善してもらえるように期待をしています。



せいかつかい ご えい が じょうえい き かく
生活介護映画上映企画

せいかつかい ご き かく えい が じょうえい おこな か き かんそう いただ
生活介護の企画で映画上映を行い、下記のような感想を頂きました。

かんせん よ ぼう たいせつ い しき てん め よ
「感染予防という大切な意識をしなくてはいけない点に、しっかり目をくばれていて良かったで
す。じょうえい えい が とう じしや かがた えい が せんたく
上映する映画も、当事者の方々にアンケートをしていました。映画の選択も「サンゴレンジ
ャー」にスムーズに決まりました。

えい が なか えい が かん たいさく い なか つつ なか じ む しょうい じょうえい ば
映画もコロナ中で、映画館が対策していても行きづらさが続いている中で事務所内で上映する場
所、しよ にんずうせいげん かん き など し こうさく ご
人数制限、換気等、試行錯誤しているのがわかりました。

とうじつ す ば しょ じ ゆう み き じょうえい と ちゆう さん か
当日もみんなが好きな場所で自由に観ているような気がしました。上映途中でも参加できるよう
にたす あ な た おも
助け合って成り立っているように思えました。

そのおかげで「サンゴレンジャー」をぶ じ みな たの おも
無事に皆さん楽しんでいるように思えました。

かつどう かつどう かき かん い
サンゴレンジャーの活動がイルカの活動と重なるようなイメージを感じたので良いセレクトだ
と思いました。おも えい が くるまい す こ とうじょう こ じゅうよう せんざい はなし かん どう
映画では車椅子の子も登場し、その子が重要な存在で話をみていて感動しまし
た。はじ うみ なか はい にん おとな ほ じょ あんぜん うみ み はじ うみ
初めて海の中に入るのに2人の大人が補助しながら安全に海を見せてくれて、初めての海を
たの 楽しんでるようでした。

いま べんり せいかつ お もと し ぜん たいせつ ろうにやくなんによ さまごま い けん あつ
今の便利な生活を追い求めるだけでなく自然を大切にしようという老若男女の様々な意見を集
め、なか ほっけん みちび だ じゅうようせい つうかん
その中から発見し導き出すことの重要性を痛感しました。

このように、ち きゅう い みんな えい が さい ご しあわ かんきょう
地球で生きている皆で映画の最後のウエンディングシーンのように幸せな環境を
たいせつ い しき せいかつ おも えい が かんしょう さん か
大切にしていかなければならないと意識した生活ができたらいいと思いました。映画鑑賞に参加
させていただきます。ありがとうございました。」

コロナのせいで、がつ がつ じ たくたい き みんな く よう び か しゅっさん
4月～9月まで自宅待機と皆が来る曜日を変えての出勤でしたが、ようや
く がつ つうじょうしゅっさん えいきょう せいかつかい ご べんきょうかい など
10月からは通常出勤となりましたが、コロナの影響で生活介護のイベントやイルカの勉強会等
がキャンセルになり外に出る機会が少なくなりました。

き ぶんでんかん たの き かく さいしよ かんが
気分転換もかねて、みんなで楽しめる企画として最初は、ドライブにいこうと考えてました
が、またコロナがふ えてきていてドライブはえん き
延期となりました。

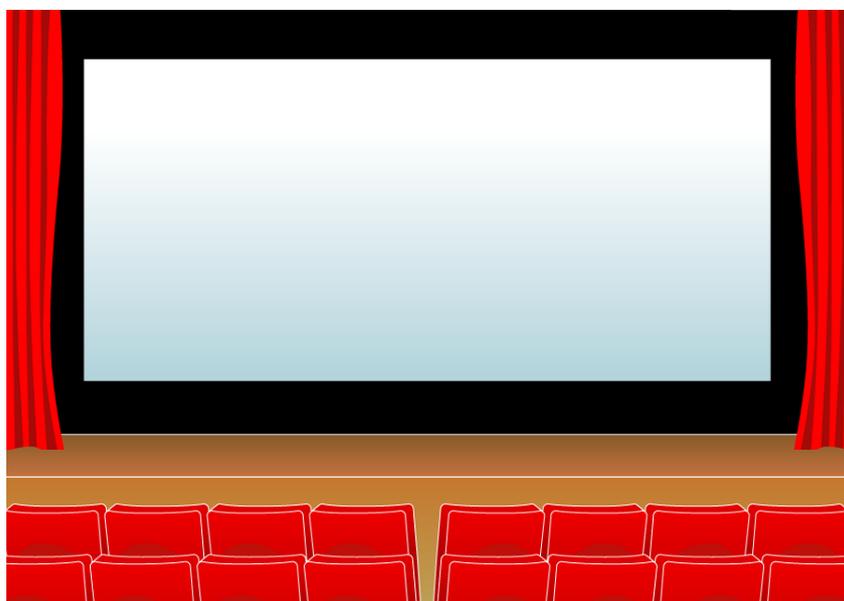
その代わりに、事務所でできる映画鑑賞を計画しました。コロナの予防対策で3密を避けて午前、午後の2回上映をしました。事前に準備できて良かったです。

笑い感動の映画で楽しかったです。私はこの映画は、見たことがあるのは覚えていますが、内容は忘れてました。企画で「サンゴレンジャー」を見れて良かったです。

次は、「そんな夜中にバナナかよ」と言う映画を見た方が良いよと言う声が多かったです。C I Lにも関係ある内容だそうです。

今回の企画(映画鑑賞)は思っていた以上に面白かったし、参加者の感想なども参考にして報告

書を書けたので全体の協力もありとても良かったです。継続してこの企画を定期的に来たらなと思いました。



はっせい ため みか
コロナ発生している為、皆のキョリ
 えが お
をとりました(笑顔)



うらちゃんmini
浦添市内を
どこまでも。

2020
11月1日
START
デマンド型コミュニティバス
約1年間の実証実験を予定



運行区域	市内一律料金	運行時間
浦添市内全域	大人：400円	7:00-19:00
利用対象	65歳以上： 障がい者：300円	予約受付
どなたさまでもOK ※30分前予約必須	小学生以下：200円 <small>(※幼児は無料)</small>	6:30-18:30

うらちゃんminiの活用例



でんどうくるまいす
電動車椅子ユーザーでも「う
らちゃんmini」に乗りた
い!!!!



2020年秋、とあるテレビCMからインターネットのページを見つけました。

「11月1日より、浦添市内でデマンド型コミュニティバス『うらちゃんmini』の運行が開始されました。ルートやバス停が決まっているものではなく、電話で予約をすると、浦添市内のどこでも駆け付け目的地まで送迎をする便利なサービスになっています。

路線バスを利用するよりも便利で、料金もタクシーよりお手頃です。お子様と一緒にのお出かけや、駐車場のない場所へのお出かけなどにとっても便利！

浦添市民でなくても利用できますので、浦添へのお出かけや観光にもぜひ、ご利用ください！」

コミュニティバスの運行を知り、利用方法などが気になり問い合わせしてみました。

「『誰でも利用できるバス』と広告されていますが、電動車椅子でも乗れますか？」

役所の担当者の方の返答は

「スロープがついていないので電動車椅子は乗れません。車椅子はたためるものなら載せられます」とのことでした。

僕は、誰でも利用できるバスと言われているのに、なぜ“電動車椅子ユーザー”の僕は乗れないのか。これはおかしいと思い、浦添市の松本哲治市長へFacebookから連絡をしました。

「浦添市のコミュニティバスには電動車椅子が乗れないと聞きました。誰でも利用できるように、電動車椅子でも乗れるコミュニティバスを作ってほしい！」とメッセージを送りました。

その後、イルカの有志メンバー数名と、県内の障がい者関係団体の方々と一緒に浦添市役所へ訪問し、都市計画課の担当者の方と話し合いを行いました。

しかし、担当の方からはコミュニティバスについての前向きな返答をいただくことができませんでした。

コミュニティバス利用の目的について、役所の担当者からの説明がありました。

「自家用車の利用が多く、道路の混雑などもあるため便利なコミュニティバスをつくり、渋滞緩和や地域活性化を目的としている」

僕はこの説明を聞いた上で思ったことがあります。

「便利なコミュニティバスを使いたいと思っても、『誰にでも利用できる』という言葉がついていても、僕には使うことができない。もっと便利にしてほしい！」

もし、コミュニティバスをつくるという計画のときに、浦添市内に電動車椅子ユーザーがいることを知ってくれたら、話をきいてくれていたら。もっと良い活用方法があったかもしれません。

今後も浦添市役所とコミュニティバスについて交渉を続けていきます。



浦添市内で電動車椅子ユーザーでも乗れるよう、みんなで頑張る